温故知新

5月から熱中症予防を！！

熱中症は、夏に起こる病気だと思っていませんか？

熱中症は5月から6月、9月から10月といった時期にも発生しています。5月の連休明けに急に暑くなったときなど、身体がまだ暑さに慣れていないことから熱中症を引き起こしてしまうこともあります。

また、熱中症を屋外で起こる病気だと思っていませんか？

救急搬送された約60%は屋内で熱中症は発生しています。

また、65歳以上の高齢者の熱中症死亡数の半分以上は、日常生活をしている最中に発生しています。家の中にいるから熱中症にならないというのは、大きな誤解です。

正しい知識で命を守る　救急処置

こんな症状がでたら

体温が高い	大量の発汗	頭痛、吐き気
めまい	気分が悪い	力が入らない

水分を自分で摂取できない、意識がない → すぐに救急搬送

［まず処置］

1. すぐに涼しいところに避難させる
2. 衣類をゆるめ靴を脱がせる
3. 体表面を水でぬらして、うちわで風を送る
4. スポーツ飲料等の水分を取らせる
5. 首まわり、わきの下、太ももの付け根を冷たいもので冷やす
6. 足を高く上げ、手足の先から中心部に向けてマッサージする

熱中症予防

【今号の主な内容】

P①　熱中症対策
P②　安責者の役割と心構え
P③　職長の職務･社員紹介
P④　ことわざ、職長会のお知らせ

発行

野田工業　株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
ＴＥＬ：03-3572-1866
ＦＡＸ：03-3575-0420

ことわざ・格言にならう安全衛生訓

● 百聞は一見に如かず ●

・現場でよく見て確認しよう

「百聞は一見に如かず」とは、百回聞くより一度見る方がよく理解できる。「聞いた百より見た一つ」ともいい、目で見て確認することの重要さをいっています。「十人の聞きしことよりも、一人の目撃のほうが価値がある」と西欧でもいわれてきました。

「あの機械のあの箇所は、具合が悪いので注意した方がいいよ」と聞かされるよりも、その具合の悪さを現場で見て確認し合うことが、安全にとって何倍も大切なことです。

人から聞いたことや又聞きは、どうしてもその間に勘違いや聞き違い、本人の主観が入って事実と異なり、とんでもない間違いがあったりします。

私たちが外界から得る情報や知識の約8割は視覚（見る）からですから、視覚の役割は非常に高いのですが、しかし、一目見たから大丈夫とはいえません。「見れども見えず」で、見違い勘違いなどがありますから、よくよく注意して見る必要があります。

ともかく何事も、よく見て確認することからはじめたいものです。

【 職長会のお知らせ 】

★日　時　　2019年6月18日（火）

★時　間　　18時00分～

★会　場　　銀座ユニーク　3階

職長（作業責任者）等の教育事項（役割・職務）

※現場で、作業員を直接指揮・監督して、災害防止を図ること。

①作業手順の定め方
②労働者の適正な配置の方法
③指導及び教育の方法
④作業中における監督及び指示の方法
⑤危険性又は有害性等の調査の方法
⑥危険性又は有害性等の調査の結果に基づき講ずる措置
⑦設備、作業等の具体的な改善の方法
⑧異常時における措置
⑨災害発生時における措置
⑩作業に係る設備及び作業場所の保守管理方法
⑪労働災害防止について関心の保持及び労働者の創意工夫を引き出す方法

社　員　紹　介

野田工業株式会社
関口　芳生

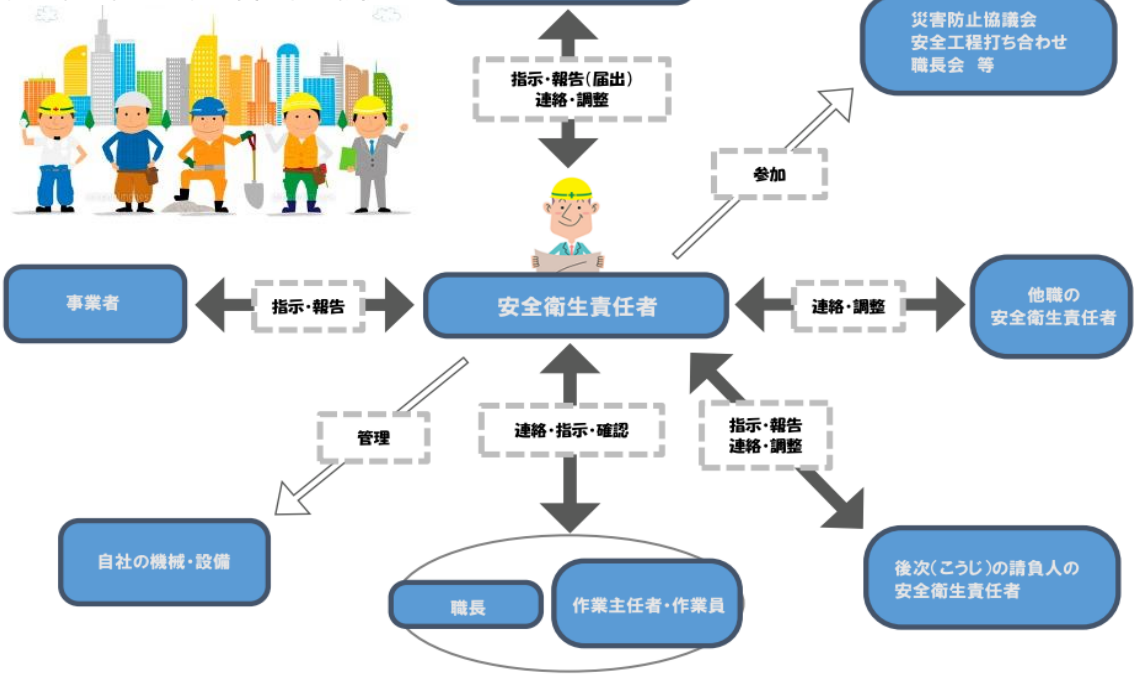
はじめまして。関口芳生と申します。
以前は㈱ミヤデラ断熱名古屋支店の方で約2年間、お世話になっていました。その期間、主に現場へ常駐し作業や職人の手元で材料を切ったり加工したりしていました。
最後に余談ですが、趣味は野球をはじめとするスポーツ観戦で最近の典型的な現代をときめく20代の若者です。
どうぞお手柔らかにお願いします！

安全衛生責任者・職長の役割と心構え

2010年～15年の8件の死亡災害の内、4件は安全衛生責任者・職長が書類送検されています。安全衛生責任者。職長は、送検リスクが高いことを自覚され、各々の役割・職務を確実に果たしましょう！！

安全衛生責任者の役割・職務

安衛法第16条（安全衛生責任者）
安衛則第19条（安全衛生責任者の職務）



※元請（統括安全衛生責任者）と自職と他職の関係請負人（後次の請負人を含む）との連絡調整を行う。

①統括安全衛生責任者（元請所長）との連絡・調整
②統括安全衛生責任者から受けた事項の関係者への連絡
③統括安全衛生責任者からの連絡事項の実施及び管理
④請負事業者の作業計画と元請の計画との整合性の調整
⑤混在作業による労働災害に係る危険の有無の確認
⑥後次の請負人の安全衛生責任者との作業間の連絡・調整
⑦事業者の代行者として統括安全衛生責任者に報告・届出
⑧安全衛生管理活動への協力